



学校だより

No. 6 さいたま市立神田小学校
令和6年 10月1日発行 Tel (853) 4377
URL : <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を
たくましく生きる神田の子
・かしこく・たくましく・あたたかく

「こどもまんなか社会」を地域から

校長 中村 誠

先日、地域の方から「具合が悪くなっていた時に、神田小の子どもたちが『大丈夫ですか?』と声をかけてくれました。本当にうれしかったです。」とのお話を伺いました。また、別の日にも、「神田小の子どもたちが、具合が悪そうに見える方に対して、優しく声をかけていた様子を見ました。」という話を伺いました。私は、神田小の子どもたちは思いやりのある心優しいのだと改めて実感しました。これも、保護者のご家庭における教育もさることながら、地域の方々が笑顔で登下校を見守ってくださっているおかげだと強く感じております。

全国で実施した「令和6年度児童調査」において、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか?」「人が困っている時は進んで助けていますか?」との質問項目で、神田小の子どもたちは、肯定的な回答率が全国平均よりも非常に高い傾向にありました。実はこの結果については、昨年度の調査結果でも高い傾向でありました。「誰かのために」と行動しようと考え、実行できる神田小の子どもたちは本当に素晴らしいと思います。

子ども家庭庁が掲げる子ども未来戦略の中に「社会全体の構造・意識を変える」との基本理念があります。これは、子どもたちを社会全体で健全に育てていくために、社会の仕組みや一人一人の意識を変えていこうという考えです。昨今では、近隣とのつながりの希薄化や価値観の多様化、児童虐待・不登校等の増加問題など、子どもを取り巻く環境について多くの課題を抱えています。これから未来を生きる子どもたちが、自分自身の価値を創造し、well-being(多様な幸福)を実現するために、学校・家庭・地域が今まで以上に一体となり、子どもの健全な育成を考え行動していかなくてはならないと思っております。地域の方々が、日頃から行っていたい登下校の見守りには、子どもの安全を見守るということだけではなく、地域コミュニティの大切さを子どもたちに伝える大事な活動であり、その結果が児童調査に表れているのではないのでしょうか。

さいたま市では、行政方針の中で「幸せな人生と豊かな社会の創造を循環させるエンジンとなるコミュニティ・スクールの推進」を目標にしております。本校としましても、学校運営協議会を柱として、保護者・地域と一体となって、子どもたちの幸福について考えを出し合い、試行錯誤を重ねながらよりよい方向へ進むための合意形成を図っていきたくと考えております。社会のための子育てや教育ではなく、子育てや教育が目的となった社会になる「こどもまんなか社会」の構築を、この地域から発信していければ幸いです。

10月は、6年生の修学旅行や5年生の自然の教室など学校行事等も多い時期です。また、26日開催のオータムフェスタを、子どもたちも楽しみにしております。保護者・地域の皆様には、様々お世話になりますが、子どもたちの笑顔のために、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。



9月17日、中秋の名月を天体望遠鏡で観察しました。(学校ブログに掲載しております。)